

- 4月9日[火] ベトナム・ハイズオン省党書記一行来庁
- 4月11日[木] アラブ諸国駐日大使来庁
- 4月14日[日] 白波スタジアムオープニングセレモニー
- 4月22日[月] 第1回かごしま故郷人財確保・育成推進本部会議
- 4月22日[月] 農業産出額5,000億円感謝の夕べ
- 4月25日[木] 鹿児島空港国際線ターミナルビル増改築工事起工式
- 4月26日[金] 英国マンチェスター市長来県
- 4月30日[火] 知事と語ろう車座対話(十島村)
- 5月2日[木] マリンポートかごしま来園者1000万人達成
- 5月3日[金] 知事と語ろう車座対話(三島村)
- 5月6日[月] ~ 8日[水] トリニダード・トバゴ代表リレーチーム事前合宿(ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅)
- 5月11日[土] 消防・防災ヘリコプター2代目「さつま」就航式
- 5月13日[月] 日口知事会議
- 5月17日[金] 第74回国民体育大会強化指定証授与式
- 5月20日[月] 日本遺産認定
- 5月21日[火] 春の叙勲伝達式
- 5月22日[水] かごしま国体まで500日

4/14
[日]

白波スタジアムオープニングセレモニー



▲子どもたちと一緒にオープニングを祝う関係者

白波スタジアムの改修工事が完了したことに伴い、オープニングセレモニーを開催しました。同スタジアムは、昭和45年10月に完成し、これまでさまざまな改修を行ってまいりました。今回、2020年のかごしま国体に向けて、動画対応の電光掲示盤の設置や屋根の拡張、トラックの全面改修などを行いました。また、今回の改修により、国際規格認証クラス2の陸上競技場として、九州で2番目となる公認を受け、国際大会レベルの大会の開催が可能となりました。

今後とも、県民の皆さまが生涯にわたりスポーツに親しむことができる環境づくりに努めてまいります。



▲カラーでの動画表示に対応した電光掲示盤

4/22
[月]

農業産出額5,000億円感謝の夕べ



▲料理を前に、食と話が進む参加者

平成29年の本県農業産出額が5,000億円と過去最高を記録し、全国第2位となったことから、このことをともに喜び、関係者のご尽力をたたえる「感謝の夕べ」を開催しました。

当日は、農業者、関係団体から170名余りが参加され、関係団体を代表して、県農業協同組合中央会の山野会長から、「5,000億円に満足することなく、今後も農業農村の振興に取り組んでいく」との力強い言葉をいただきました。

会場では、黒毛和牛など本県の素晴らしい農畜産物を使った料理を味わっていただきました。

今後とも、本県農業・農村のさらなる発展に向けて、オール鹿児島で取り組んでまいります。



▲鹿児島県産の食材を使った料理

4/25
[木]

鹿児島空港国際線ターミナルビル増改築工事起工式



▲出発ロビーの完成イメージ図

鹿児島空港国際線ターミナルビルの増改築工事起工式が行われました。

増改築工事は、国際線の利用者数が急増していることから、2便同時の離発着に対応できるようにするため、空港ビル会社が、ボーディングブリッジや手荷物ターンテーブルの増設のほか、免税売店の拡張などを行うものです。2020年6月の完成を予定しており、完成後は、60万人の受け入れ(平成30年度は38万人利用(速報値))が可能となります。

同空港では、現在、ソウル、上海、香港、台北の4つの国際線が就航しています。

鹿児島からもっと海外へ出かけませんか。



▲外観の完成イメージ図

4/26
[金]

英国マンチェスター市長来県



▲昨年度英国に渡った高校生との再会

明治維新150周年を記念して、昨年7月に友好協定を締結した英国マンチェスター市のジューン・ヒッチン市長が鹿児島を訪れました。県庁への表敬訪問のほか、昨年度の薩摩スチューデント派遣事業で英国に渡った高校生らと再会し、意見交換しました。

市長からは「鹿児島とマンチェスターは、先進の技術を取り入れるなど、変化を恐れない共通点を持っている。若者は県の良いアンバサダーとなり、お礼、始まったばかりの関係が発展していくのを楽しみにしている。」との言葉をいただきました。今後、双方の関係を強化して、鹿児島とマンチェスターの発展につなげていけるよう取り組んでまいります。



▲関係強化を確認したジューン・ヒッチン市長と三反園知事

4/30[火]
5/3[金]

知事と語ろう車座対話(十島村、三島村)



▲地域の現状を語る三島村の方々

「知事と語ろう車座対話」を4月に十島村、5月に三島村において開催しました。

それぞれの地域の代表である自治会長をはじめ、農業や漁業、福祉など各分野に携わっている方々と三反園知事が文字どおり車座になって、意見交換を行いました。離島における農畜水産業の振興や子育て支援、医療体制の充実など、実際に現地に行かなければ分からない、身近な、生活に密着したさまざまな意見をたくさんいただきました。

このほか、各島でさまざまな交流を行い、村長をはじめ多くの住民の方々と、十島村、三島村の将来についてじっくりと語り合いました。



▲十島村の方々と交流をする三反園知事

5/2
[木]

マリポートかごしま来園者1,000万人達成

マリポートかごしま 来園者1,000万人達成記念



▲くす玉を割って達成を祝う関係者と1,000万人目の来園者ら

今後とも、来園者の方々が、「また来たい」と思っていただける場となるよう取り組みを進めてまいります。



▲クルーズ船が寄港するマリポートかごしま

クルーズ船が接岸できる岸壁や、県民や観光客が錦江湾や桜島の雄大な景観を満喫し、憩い、海と触れあえる緑地空間が広がるマリポートかごしまの来園者が、平成19年9月の開園以降累計1000万人を達成しました。5月2日に記念イベントが開催され、1000万人目となった方などに記念品を贈呈しました。現在、世界最大の22万トン級のクルーズ船が接岸できる新たな岸壁の整備を進めており、さらなる活用が期待されます。

5/6[月]
5/8[水]

トリニダード・トバゴ代表リレーチーム事前合宿



▲トリニダード・トバゴ代表選手ら

今後国内外の選手が、国内最高水準の陸上競技トレーニング施設である本センターを利用して、オリンピックなどのひのき舞台で活躍されることを期待しています。



▲屋内競技場で調整する様子

ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅(大崎町)で、トリニダード・トバゴ代表リレーチームが、「世界リレー2019横浜大会」に向けた事前合宿を行いました。5月6日には、歓迎セレモニーを開催し、県から「鹿児島県牛」を贈呈しました。県民の皆さまの応援を受けて同チームは、本大会の男子4×400メートルリレーにおいて、見事金メダルを獲得しました。

5/13
[月]

日ロ知事会議



▲日ロ知事会議で発言する三反園知事

日本とロシアとの地域間交流のさらなる促進を目的とした「日ロ知事会議」が5月13日にモスクワで開催され、三反園知事を始め全国8道県の知事が出席しました。同会議では、ロシア連邦院議長やモスクワ市長などと、活発な意見交換を行いました。モスクワ滞在中は、ロシアの皆さんに、日本一の「鹿児島県牛」や「ブリ」、「焼酎」などの特産品、自然や温泉など、本県のさまざまな魅力をPRしました。今回のモスクワ訪問を契機に、県産農畜水産物のロシアへの輸出拡大がさらに図られるよう取り組んでまいります。



▲水産物のならぶウシヤシェフスキー市場